

これまでの経緯と ワークショップの趣旨

平成20年2月23日(土)

日立道路検討会 PI実施事務局

1. これまでの経緯

(1) 日立道路再検討プロジェクト着手までの経緯

- 平成19年に、日立市が20年以上未着手の都市計画道路の見直しに着手。
- 平成19年2月、日立市が『日立都市計画道路再検討委員会(以下、再検討委員会)』を設置。
- 『再検討委員会』では、日立市内の主要幹線道路である9路線から検討を開始。

◆日立都市計画道路再検討委員会

都市計画決定後、事業未着手のまま20年以上経過した路線を見直すべく、日立市が平成19年に設置した委員会。

- 平成19年6月、『再検討委員会』が9路線のうちの3路線について“市民の意見を聞きながら詳細な検討を行う必要がある”との考えを市民のみなさんに提示。
- 平成19年7月、『再検討委員会』は、市民のみなさんから募集した意見を踏まえ、3路線の見直しの方向性を中間報告として、日立市長に提示。

※ 見直しの対象の3路線

- 国道6号日立バイパス
(旭町～河原子町)
- 県道鮎川停車場線
(国道245号より東側)
- 大宮雨降川線
(鹿島町、弁天町地内)



4

- 平成19年10月、『再検討委員会』の中間報告を踏まえ、日立市長は、『日立道路検討会』に、3路線の見直し検討を要請。

◆ 日立道路検討会

日立バイパスを含む日立市内の道路整備の方針を平成16年より検討する、国土交通省、茨城県、日立市からなる検討会



5

(2) 日立道路再検討プロジェクトの開始

- 平成19年10月、日立道路検討会が日立バイパスの未着手区間を主体とした再検討を開始。

- 「日立道路検討会」はPI方式を導入して検討することを決定し、「PI実施事務局」を設置。
- 『再検討の進め方』の段階から、みなさんの意見を聴きながら検討を開始。

PI(パブリック・インボルブメント)とは:

道路の計画づくりなどをする時に、検討の進め方、検討の内容などの情報を示して、地域やユーザーの人たちの意見を聴きながら、それらを計画づくりに反映させていく仕組みのこと。

(3) 『再検討の進め方』の段階で実施したPI

- 広報紙: 日立道路だより
- ホームページ
- オープンハウス
- 電話、FAX、Eメールなど

⇒658名の方々からご意見をいただきました。



日立道路だより



ホームページ



オープンハウス



(4) 『再検討の進め方』の確定

- 再検討は、段階的に進めていきます。
- 市民に対し各段階で情報提供、意見把握を行います。

【段階的な検討】段階を区切って検討します

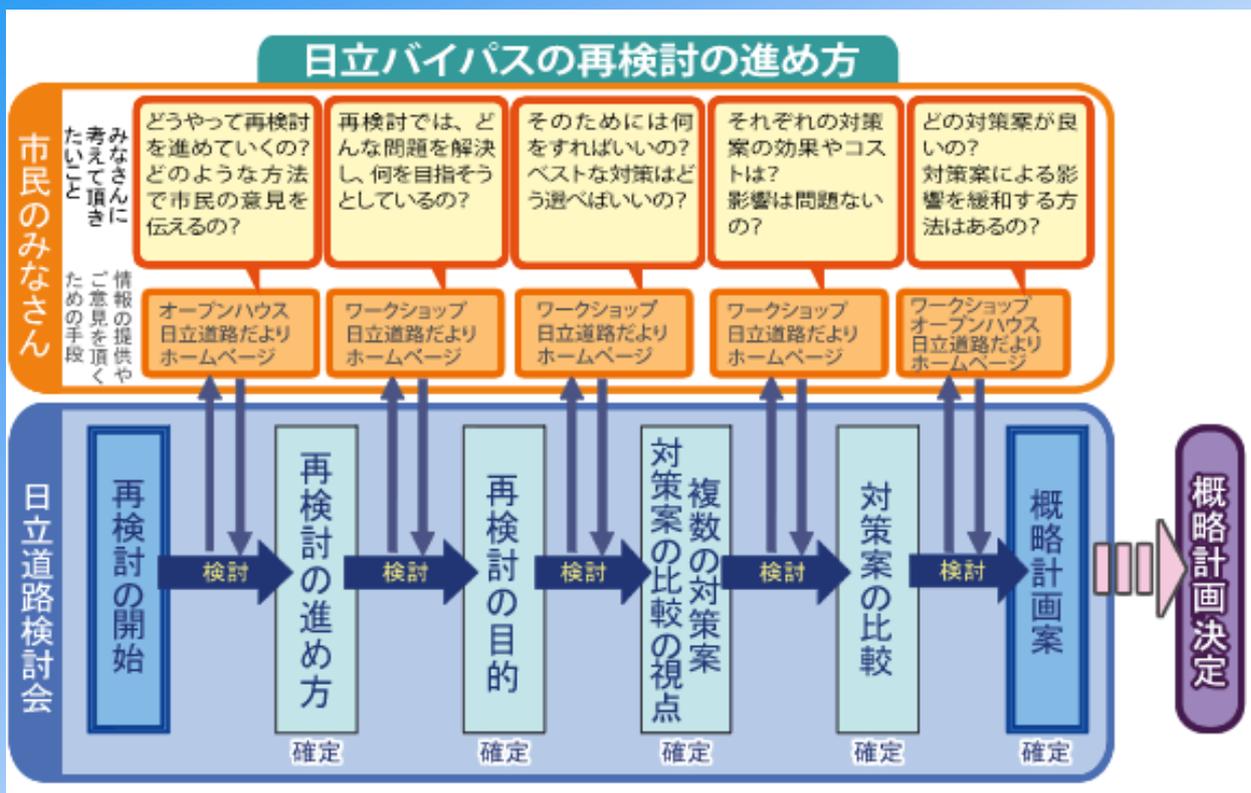
【情報提供】プロジェクトに関する情報を、市民に広く、わかりやすく情報提供します

【意見把握】市民が参加しやすく、意見を言いやすい環境をつくり、多様な市民からの意見把握に努めます

【意見反映】市民の意見は、計画に反映できるようニーズをとりまとめ、日立道路検討会が計画に反映します

【検討内容】プロジェクトの目的に応じた複数の対策案を、多様な視点で比較評価し、「概略計画案」を確定していきます

※日立道路だより第4号に掲載 8



2. ワークショップの設置趣旨

(1) ワークショップの設置趣旨

- 「再検討の進め方」が確定し、これから概略計画案の確定に向けて、具体的な計画や対策の検討を進めていきます。
- 計画にみなさんのご意見を反映するには、より具体的なご意見やアイデアをお聴きする必要があります。

みなさんの立場からのより具体的な情報をお聴きするために、
『日立道路再検討プロジェクト・ワークショップ』
を設置します。

(2) ワークショップの目的

- 概略計画案に市民のみなさんのご意見を反映するために、みなさんの具体的なニーズ、懸念、アイデアを収集する。
- みなさんで日立道路再検討プロジェクトに関する多様な意見を出し合い、みんなで共有する。

12

(3) ワークショップでの議論の前提

- 日立道路検討会は、日立市内の3路線のあり方(都市計画の存続、変更、廃止)を検討します。

国道6号日立バイパス
(旭町～河原子町)

大宮雨降川線
(鹿島町、弁天町地内)

県道鮎川停車場線
(国道245号より東側)

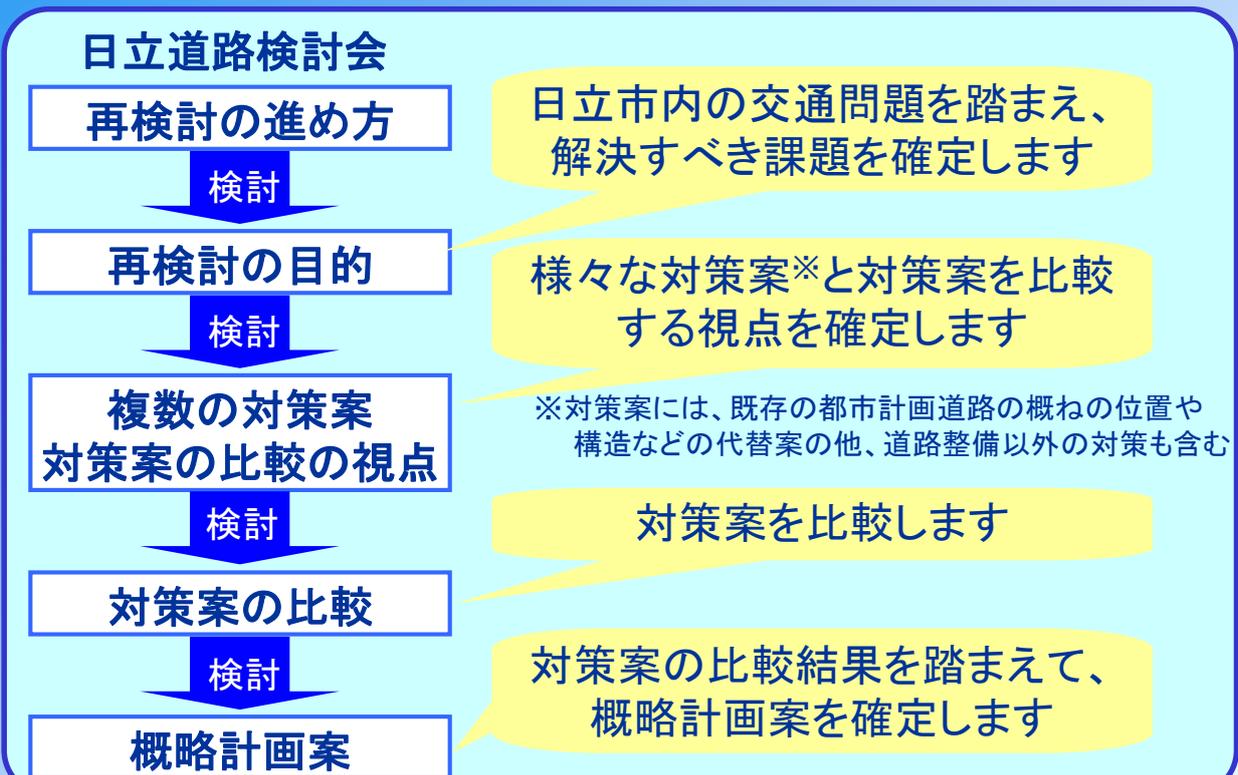
- 日立道路検討会が3路線のあり方を検討する上では、道路の整備を前提とせず、道路整備以外の対策案も含め、幅広く検討します。

13

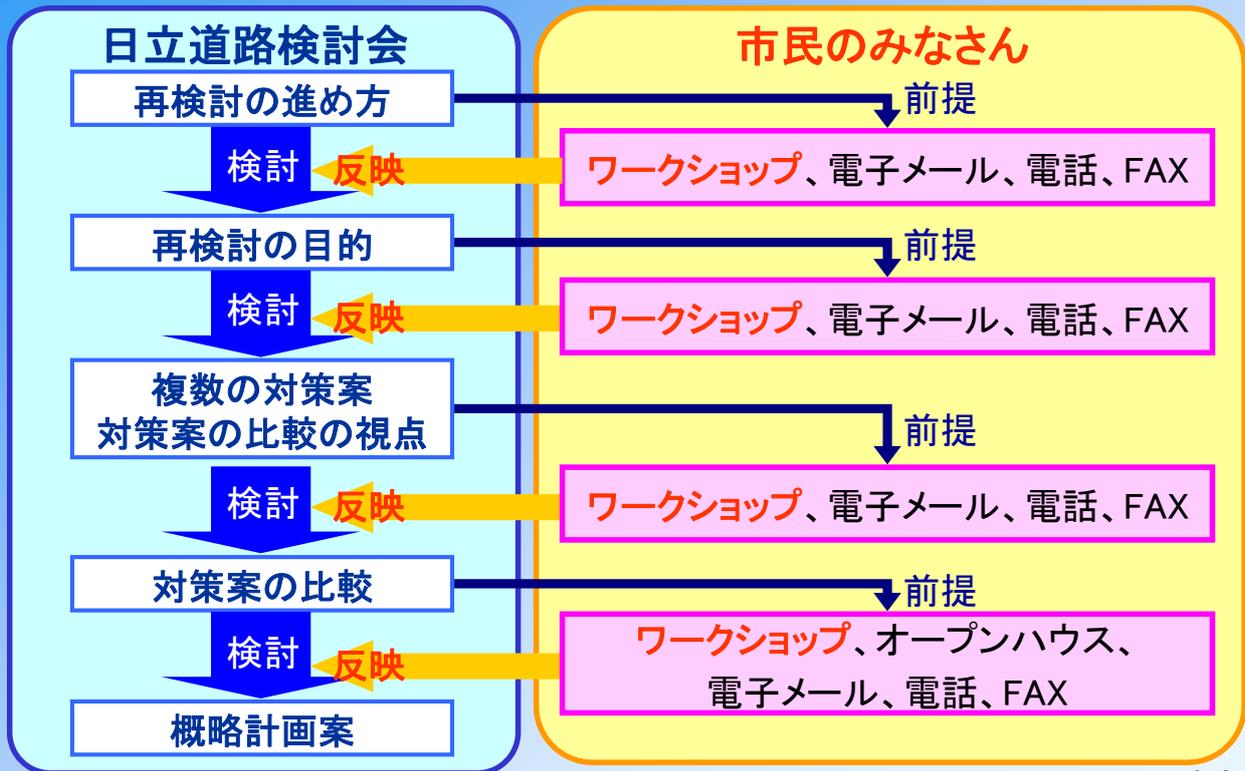
(4) ワークショップの位置づけ

- **ワークショップ**は、日立道路検討会の計画検討に反映すべきご意見を把握するための**市民参画の場の1つ**です。
- **ワークショップ**は、1つの結論を導き出したり、総意をまとめる場ではなく、みなさん同士での議論を通じて出された**具体的かつ多様なニーズ、懸念、アイデア**を網羅的にとりまとめる場です。
- **ワークショップ**の成果は段階毎にとりまとめ、日立道路検討会が**各段階で反映して**いきます。

(5) 日立道路検討会が確定する内容



(6) 検討の流れとワークショップの関係



(6) 話し合いの方法

- 公募市民による少人数グループ討議
- 幅広く多様な意見を整理
- ファシリテーターによる運営



ファシリテーター



グループ
討議



全体発表